

フランスのフェミナ賞受賞作家による講演会

# 映画『マリー・アントワネットに別れを告げて』 を原作者Chantal Thomasと見る

映画を見て原作者と語り合おう

※通訳あり (フランス語⇔日本語)



日時

2013年11月22日(金)  
15:10～18:20 (4・5時限)

場所

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス  
第4別館402号室

講師

シヤンタル・トマ Chantal Thomas

元国立科学研究所教授。現在は作家。18世紀フランス文学を専門としている。とりわけサドやカサノヴァについての著作が多く、フランス革命、マリー・アントワネットにも造詣が深い。リヨンの18世紀についての共同研究を主宰し、アンシアン・レジーム下における新聞・雑誌の分析や私生活についての研究で大きな成果をあげた。他方、小説や演劇作品も手がけ、2002年に小説『王妃に別れをつけて』(*Les Adieux à la reine*, Seuil, 2002)でフェミナ賞を受賞、また戯曲『朗読役補佐』(*La Lectrice adjointe*, Mercure de France, 2003)、小説『思い出のカフェ』(*Café de la mémoire*, Seuil, 2008)、サドに関する『ナポリの旅』(*Sade, Voyage à Naples*, payot & Rivages, 2008)、最近も歴史小説『王妃の交換』(*L'échange des princesses*, Seuil, 2013)を上梓した。翻訳されているものとして、『王妃に別れをつけて』(白水社、2004年)のほか、『サド侯爵 新たな肖像』(三交社、2006年)がある。

お問い合わせ：関西学院大学 言語教育研究センター  
0798-54-6131

主催：言語教育研究センター

共催：大学院言語コミュニケーション文化研究科、文学部文学言語学科フランス文学フランス語学専修